

阿蘇地域における秋ソバ栽培法

阿蘇地域における秋ソバ栽培において、播種方法としては播種量が 0.6 kg/a 、播種様式が散播で耐倒伏性に優れ、収量が安定する。また、施肥としては基肥に窒素成分で 0.2 kg/a 施用すると耐倒伏性に優れ、収量が安定する。

農業研究センター高原農業研究所 (担当者: 安武智臣)

研究のねらい

阿蘇地域における秋ソバ栽培ではそば道場、神楽苑等の観光とタイアップした地産地消が以前から取り組まれている。しかし、耕種基準はなく、農家の経験による栽培が行われてきたため、収量性は低く、不安定となっている。

そこで、適切な栽培法を検討し、安定栽培技術を確立する。

研究の成果

1. 条播は挫折型による倒伏に対し、散播はなびき型による倒伏であるため、倒伏程度が軽減され収量が安定する。そのため、播種様式としては、散播が適する(表1、図1)。
2. 播種量が増えると収量も増加し、個体当たりの生育量が抑えられ、倒伏程度が軽減される。そのため、播種量としては 0.6 kg/a が適する。(表1、図1)。
3. 基肥の窒素成分が増えると分枝数は確保されるが、倒伏程度も大きくなるため、基肥で窒素成分 0.2 kg/a の施用が適する(表2、図2)。

普及上の留意点

1. 排水の悪いほ場では、排水対策に努める。
2. 地力によっては、施肥量を調整する。

表1 播種様式の違いが生育に及ぼす影響

試験区名	開花期 月日	成熟期 月日	主茎節数 節/本	分枝数 枝/本	倒伏程度 0~5	子実重 kg/a	千粒重 g
播種量0.2kg/a 条播	9/13	10/29	12.4	3.7	2.9	8.9	29.7
播種量0.2kg/a 散播	9/13	10/20	12.9	3.4	2.7	9.6	29.6
播種量0.4kg/a 条播	9/13	10/26	12.2	2.7	2.4	10.9	30.0
播種量0.4kg/a 散播	9/13	10/26	11.5	2.8	1.8	11.4	29.4
播種量0.6kg/a 条播	9/13	10/25	11.2	2.4	2.7	11.2	30.6
播種量0.6kg/a 散播	9/13	10/25	11.2	2.2	1.6	12.8	30.5

注) 数値は、平成13年~15年成績の平均値

播種日は平成13年が8月17日、平成14年が8月14日、平成15年が8月13日

品種は阿蘇在来

表2 施肥量の違いが生育に及ぼす影響

試験区名	開花期 月日	成熟期 月日	主茎節数 節/本	分枝数 枝/本	倒伏程度 0~5	子実重 kg/a	千粒重 g
基肥窒素 0.1kg/a	9/6	10/26	13.4	2.9	2.3	10.1	30.2
基肥窒素 0.2kg/a	9/6	10/26	13.0	3.3	2.5	21.4	29.4
基肥窒素 0.3kg/a	9/6	10/26	13.3	3.2	2.8	19.9	29.9

注) 数値は、平成17年成績、播種日は8月10日、播種量は0.6kg/a

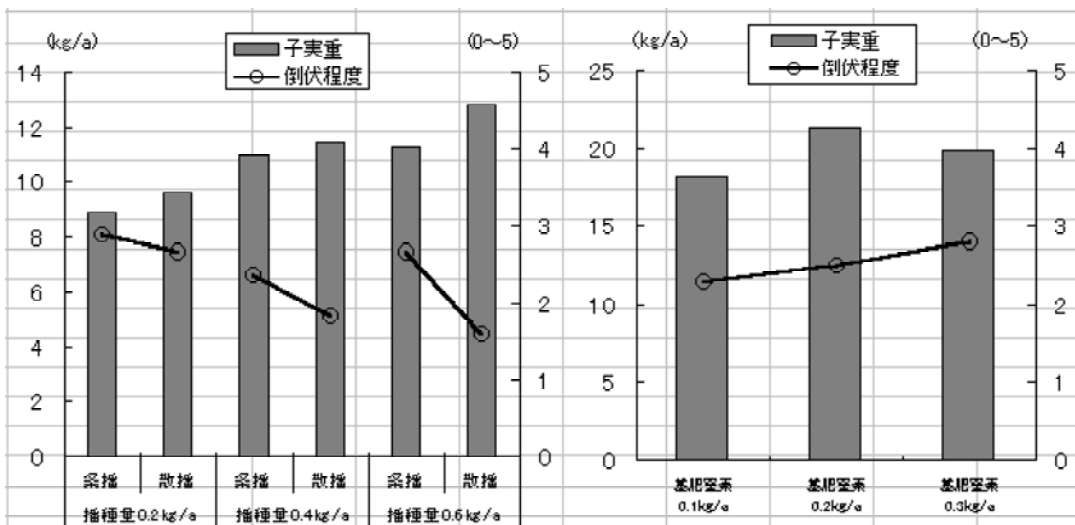


図1 播種様式の違いが倒伏、子実重に及ぼす影響

図2 施肥量の違いが倒伏、子実重に及ぼす影響

注) 数値は、平成13年~15年成績の平均値

播種日は平成13年が8月17日、平成14年が8月14日、平成15年が8月13日

注) 数値は、平成17年成績

播種日は8月10日